

下北沢小学校学校関係者評価委員会

臼井良雄・手寫きみ子・豊田慈子

佐野伸恵・清水桂子・中島栄二

令和7年度学校関係者評価委員会報告書

令和7年12月に実施され、回収された児童(5,6年262名)、保護者(1～6年及びくるみ学級の保護者787名)、地域の方々(64名)のアンケート回答に基づき、学校関係者評価をとりまとめましたので、以下のとおりご報告します。また下北沢小学校独自項目設問については、児童1～4年にも実施され、回収されたデータも学校側よりいただき、分析に加え使用させていただきました。

本年度も、昨年のアンケート設問と同じ設問が設定されましたので、それぞれの設問について前年度との比較をしながら考察を行うことができました。私たちの住むこの地域で、子どもたちの成長を担う下北沢小学校の評価は、かなり高いことを感じていますが、評価が高いからこそ一層、児童たちが安心安全に充実した学校生活を送れますよう、今回のきめ細かいアンケートの結果を今後の学校運営にご活用くださりますようお願いいたします。

報告書は全体についての総合所見および重点目標関連の設問についての要旨をまとめた第Ⅰ部と、アンケート項目ごとに詳細に考察した第Ⅱ部と、により構成されています。

今回のアンケートは新校になって10回目、北沢小学校も一緒に新設校舎へ移って8年目のアンケートであります。昨年に引き続き、本校が児童と保護者と地域の方々に高い信頼を受けて運営されていることを強く感じる結果でした。校長先生を始め先生方への生徒や保護者からの信頼感が厚く、学校経営方針なども良く伝わっていると思います。学習指導や生活指導を前向きによくとらえている。そして、児童育成のため下北沢小学校が独自に設定しているユニークな学校行事やなかよし班活動には大きな効果を感じて支持しています。これらの努力と支持によって、長いこと続けてきた重点目標3点も、向上してきたと思えます。

回収率は学校資料によると、1～4年児童(くるみ学級含む)525名の98.3%、5,6年児童(くるみ学級含む)262名の89.3%、くるみ学級及び1～6年の保護者787名の84.5%、地域の方々64名の93.8%とのことです。分析方法は下記のとおりです。

評価 A：とても思う + B：思う = 肯定的回答

C：あまり思わない + D：思わない = 否定的回答

E：わからない

として、肯定的回答が70%を超えた場合はその設問結果を肯定的評価とし、さらにそれが80%以上になることを目標とする。回答%の比較表中には、比較のため、昨年のアンケート結果も付記してあります。

第 I 部 総合所見および重点目標について

1-1. 総合所見

【1】学習指導について

①「学ぶことが楽しい」の設問では、5年生は76%、6年生は77%の肯定的回答である。授業が難しくなり受験のプレッシャーもある上級生のこの数字は高いと思う。

②児童5,6年に「先生は、課題(めあて)について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中でとっている」、保護者には「本校は、子どもが考えることや、課題を解決することを大切にしたい授業を行っている」の設問には、授業を5年生87%、6年生92%の肯定的回答で応えていることが素晴らしい。

③児童5,6年に「先生は黒板の書き方やプリントなどを工夫している」の設問には5年生77%、6年生80%の肯定的回答である。過去はもっと高評価だったが、最近のIT教育の導入でアナログツールは押されているのだろう。

④児童5,6年に「授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある」の設問に対して、5年生は89%、6年生は88%の肯定的回答で応えている。児童皆が一緒になって考えている風景が見える。

⑤児童5,6年に「先生は、映像やタブレットを工夫し、わかりやすい授業をしている」の設問に対して、5年生は86%、6年生は89%の肯定的回答で応えている。

当校の児童の先生方の学習指導への評価は年々高い。児童を伸ばそうとしている学校の方針や教師の気持ちを彼らを感じ、理解していることがアンケートから読み取れることは素晴らしい。

【2】生活指導について

①児童5,6年に「私は、学校のきまりを守って行動している」の設問に対して、5年生は76%、6年生は85%の肯定的回答で応えている。そして②「学校のきまりを守らない児童に先生は注意をしている」では、5年生90%、6年生79%の肯定的回答で、更に③「私は、先生に注意されたことは理解できる」では、5年生93%、6年生92%の肯定的回答であった。元気な児童は時にはルールに反することも意識しながらやっているようだ。注意されることにも納得しているようで、元気な児童と熱心な教師の姿が見える。

【3】学校行事について

当校の校長方針は、「教師は授業で勝負する。子どもは行事で飛躍する。」だそうだ。本校では運動会や展覧会、学芸会など主要な行事は児童の意見をもとに自主的に運営され、父兄OBなどから成る「おやじの会」がビデオカメラを何台も使って児童の家庭を対象にユーチューブでライブ配信しており、行事に来た人も来れなかった人も、何回でも家族と共に動画を見直し、楽しんでいるようだ。

今回のアンケートでも、①の「学校行事は楽しい」に応えた5年生は85%、6年生が86%の肯定的回答で保護者も94%の肯定的回答を示した。②の「学校行事には達成感がある」についても5年生は85%、6年生は86%の肯定的回答で応えている。上級生としての責任を果たした経験は児童にとって素晴らしい体験になるだろう。

③の「先生は児童の意欲を大切にしている」の設問にも、5年生で81%、6年生で82%の肯定的回答を示しており、学校方針で児童たちが中心になって行事の成功体験をさせようと考えている先生方の気持ちを、児童が理解していることがわかる。

④の児童5,6年には「なかよし班活動では、下学年を楽しませている」は、本校のユニークな縦割りグループの活動についての設問である。なかよし班活動は低学年の児童がやさしい上級生のお兄さんやお姉さんとグループを作り、遊び、運動する活動で、学校全体の雰囲気を温かくしている貴重な活動だ。低学年はひたすら楽しい、高学年になると責任を感じつつ低学年を楽しませる貴重な体験である。低学年の1年生から4年生には此の縦割グループ活動がとても楽しそうである。

【4】キャリア教育について

①自分の生き方や将来のことについて考えさせられる授業がある」という設問に5年生が72%、6年生82%という肯定的回答である。②「自分自身の目標をもち、その実現に努力している」という設問に児童が5年生で83%、6年生で82%の肯定的回答を示している。「自分がどんな社会人になりたいか」ということを、上級生は考えているようだ。区立中学への関心は低い、受験せずに行くことが可能なので気にしていないのではないかな。

【5】教職員について

本校の教職員の指導は児童に理解され支持されている。「先生は丁寧に指導してくれる」という設問への肯定的回答が90%前後、「先生に相談ができる」という設問への肯定回答が7割を超えているのは素晴らしい。保護者も8割以上が肯定的回答である。

【6】学校全般について

「学校が好きか」の設問に対して、児童1年生が94%、2年生が84%、3年生が87%、4年生が80%、5年生が80%、6年生が78%、くるみ学級が100%の肯定的回答を示している。

学校全体の雰囲気がとても温かい。低学年の児童は上級生を怖がることもなく、お兄さん、お姉さんとして親しんでいることがわかる。5,6年生の上級生は下級生の様子に責任感を持って当たっている。結果として多くの児童が、学校が好きになり、学校生活が楽しいと感じているのだろう。そのような中で自分のキャリアを意識して目標を持ち、受験のために塾へ通う5,6年生児童が60%強も存在しているのが本校の特徴だろう。

【7】下北沢小学校重点目標について

(1)重点目標「かかわり合う活動の充実による自分づくりのできる子どもの育成 短くして『自分のよさの実感』」5,6年児童向け設問「わたしは学校生活のなかで、自分のよさを見つけられた」の肯定的回答を昨年以上にすることを目標にしている。

今回のアンケートでは「わたしは学校生活のなかで、自分のよさを見つけられた」という設問に対して、1年生の肯定的回答の80%に驚いた。2年生が65%、3年生が67%、4年生が67%、5年生が72%、6年生が70%の肯定的回答を示している。学校生活の中で他者と触れ合い、「自分の良さをみつけられた」という体験は、児童の成長にとって重要な体験であり、教育のなかでこういう気づきを児童に味わせることは大切なことだと思う。

(2)重点目標「学習内容がわかり、できると実感し、論理的に考え、表現する子どもの育成 短くして『できる・わかる』」児童5,6年には「わたしは学習において考えたことを友達に伝えることができる」。

児童1～4年には「学校では自分の考えを言うことができた」が設問されている。

自分の考えを他者に伝える能力を自覚する体験は本人にとっては大切なことである。5年生、6年生で89%、87%との肯定的回答が出たのは素晴らしい。ちなみにこの設問に対して、1年生は73%、2年生は63%、3年生は65%、4年生が76%、くるみ学級が92%の肯定的回答で応えている。

(3)重点目標「自分の身体づくりに関心を持ち、進んで運動する子どもの育成」

これは「わたしは、健康に関心を持ち、進んで運動している」という児童の自覚意識を問う設問だ。身体作りの目標は今まで80%以上の肯定的回答を目指してきたが、今年の5年生は72%、6年生は71%の肯定的回答であり、が長らく70%台で続いている。あきらめずに継続したい。

【8】特色ある教育活動について

①「わたしは前より運動ができるようになった」の設問では、5年生の肯定的回答82%は運動に関するテーマでの初めての80%台の数字である。「前より運動ができるようになった」という直接的な質問がわかりやすかったのだろう。

②「自分の考えを言うことができた」の設問では、自分の考えを伝えることができたという自覚を1年生から持たせようとする本設問は素晴らしい。1年生で73%、2年生で63%、3年生で65%、4年生で76%、5年生で89%、6年生で87%、くるみ学級92%の肯定的回答を示している。

③「わたしは学校生活の中で、友達の話聞くことができる」の設問では、他人の意見を聴くことができるという自覚を1年生から6年生までが意識できていることは素晴らしいことである。この設問には5年生が89%、6年生が91%、そして1年生が85%、2年生が81%、3年生が86%、4年生が88%の肯定的回答で応えている。

④設問は当校の児童5、6年には「なかよし班活動では、下学年を楽しませている」、児童1～4年には「なかよし班の活動は楽しい」である。

当校のユニークな学年縦割りのグループ活動のなかよし班活動は低学年の児童がやさしい上級生のお兄さんやお姉さんとグループを作り、遊び、運動する活動で、学校全体の雰囲気をも温かくしている貴重な活動だ。低学年はひたすら楽しい、高学年になると責任を感じつつ低学年を楽しませる貴重な体験である。

アンケートの結果は、「楽しい」と答えた1年生が92%、2年生で84%、3年生で83%、4年生で88%の肯定的回答を示す。アンケートで「下学年を楽しませている」と答えた5年生は80%。6年生で89%の肯定的回答を示している。5、6年生がいろいろな提案を持って、1年生から4年生の面倒を見てくれる。1年生から4年生にとっては、彼らが共に遊んでくれるお兄さんお姉さんになっているようだ。

【9】学校と家庭のつながりについて

児童5、6年には「わたしは知っている人にはあいさつしている」、児童1～4年には「知っている人にはあいさつをしている」の設問では、80%以上の肯定的回答である。

学校と児童家庭とのつながりは色々な手段(学校通信、電話網・電子メール・ライン・映像配信など)でかなり良好だと思える。児童のあいさつ運動では、校長が率先して毎朝校門に立っており、大きな声で児童に話しかけている。児童は、通学路でも見守りの方々に挨拶をしているようだ。

【10】学校運営について

ここでは保護者と地域の方々へ、「学校の重点目標が提供されているか」、そして「校長や教職員の教育活動に満足しているか」を聞いている。結果は、保護者が86%地域の方は100%の肯定的回答である。

【11】学校からの情報提供について

- ①「本校はさまざまな便りなどで、保護者に情報を提供している」という設問に対して、保護者は94%の肯定的回答を示している。
- ②「学校からのお知らせ(学校だより)などで学校の様子がわかる」の設問に対して、地域の方々から77%の肯定的回答がある。
- ③「学び舎の区立中学校の情報が提供されている」の設問に対して、保護者は61%の肯定的回答を示している。
- ④「学校公開や保護者会を通して、学校の様子が学校の様子がよくわかる」の設問に対して、保護者の方々は94%の肯定的回答を示している。
- ⑤「本校は、ホームページやメールなどで保護者に情報を提供している」の設問に対して、保護者の方々から95%の肯定的回答がある。
- ⑥「学び舎の活動について情報が提供されている」の設問に対して、地域の方々は77%の肯定的回答がある。

【12】地域との連携について

- ①「本校は、地域の人材や施設を教育活動に活かしている」に対して、保護者は75%の肯定的回答を示している。地域の方々は93%の肯定的回答がある。
- ②「本校は、地域の活動や行事に協力的である」に対して、保護者は73%の肯定的回答を示している。良好な連携ができていると思われる。
- ③「本校は地域に情報を提供している」に対して、保護者は89%の肯定的回答を示している。
- ④「学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている」に対して、地域の方々は67%の肯定的回答がある。地域との連携はかなりなされているようだ。

【13】学校の安全性について

保護者と地域の方には「本校は安全な学校づくりを進めている」の設問で、保護者は89%、地域の方々は100%の肯定的回答。地域も保護者も学校の安全への取り組みを評価している。保護者も地域も学校の安全に対する意識と具体的施策を認知し、安心して子どもを通わせられる学校と信頼していることがわかる。

【14】学校全体について

回答した地域の方々や保護者の児童や学校に対する評価は温かい。下北沢小学校は、校長・副校長の明確な指導方針のもと、熱心な先生方にも牽引され、学校をただ学問を教え込む場ばかりでなく、児童をバランスの取れた良き社会人に育てようとしていることが、保護者、地域の人々に理解され、支持されていると思う。保護者は「子どもが学校で楽しい思いをしている」ことに満足している。

第Ⅱ部 設問別 詳細分析と考察

【1】学習(学習指導)について

(1)「学ぶことが楽しい」

回答%	令和6年 児童5年	令和7年 児童5年	令和6年 児童6年	令和7年 児童6年
A+B	89	76	74	77
C+D	8	11	24	19

コメント：「学ぶことが楽しい」については例年授業が難しくなる高学年になると肯定的回答が減る傾向があるが、昨年の5年生が今年6年生になり8%だった否定的回答が19%と、11%も増加したのは気になる。

(2)児童5,6年に「先生は、課題(めあて)について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中でとっている」

保護者には「本校は、子どもが考えることや、課題を解決することを大切にしている授業を行っている」

回答%	令和6年 児童5年	令和7年 児童5年	令和6年 児童6年	令和7年 児童6年	令和6年 保護者	令和7年 保護者
A+B	94	87	92	92	82	84
C+D	5	3	5	4	6	8

コメント：学習について先生が望む学習行動を児童の9割前後わかっているのは素晴らしい。保護者も児童を通じてそれを感じているようだ。

(3)児童5,6年に「先生は黒板の書き方やプリントなどを工夫している」

保護者には「本校は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している」

回答%	令和6年 児童5年	令和7年 児童5年	令和6年 児童6年	令和7年 児童6年	令和6年 保護者	令和7年 保護者
A+B	92	77	81	80	68	77
C+D	5	7	16	12	9	11

コメント：例年高い肯定的回答を示す5,6年生の今年の肯定的回答が減少している。近年のIT教育に児童が慣れて来て、従来のプリントや黒板を利用するよりタブレットを使用し、アナログ教材を好まないのではないだろうか。

(4)児童5,6年に「授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある」

保護者には「本校は、子どもが考えたことを話し合ったり、発表し合ったりする機会がある」

回答%	令和6年 児童5年	令和7年 児童5年	令和6年 児童6年	令和7年 児童6年	令和6年 保護者	令和7年 保護者
A+B	99	89	96	88	84	88
C+D	1	3	4	9	5	6

コメント：授業での児童同士の交流を先生が望んでいることを児童は理解しており、話し合ったり発表し合ったりして授業を受けているようだ。

(5)児童5,6年に「先生は、映像やタブレットを工夫し、わかりやすい授業をしている」

保護者には「本校は、映像やタブレットを工夫し、わかりやすい授業をしている」

回答%	令和6年 児童5年	令和7年 児童5年	令和6年 児童6年	令和7年 児童6年	令和6年 保護者	令和7年 保護者
A+B	98	86	87	89	76	79
C+D	1	5	12	7	10	8

コメント：児童はIT時代の到来の中でその教育ツールに順応しているようだ。

【学習(学習指導)について考察】

当校の児童の先生方の教育指導への評価は高い。児童を伸ばそうとしている教師の気持ちを彼らを感じ、理解していることは素晴らしい。

【2】生活指導について

(1)児童5,6年に「私は、学校のきまりを守って行動している」

保護者には「本校は、学校での過ごし方やルールについて子どもに考えさせる指導をしている」

回答%	令和6年 児童5年	令和7年 児童5年	令和6年 児童6年	令和7年 児童6年	令和6年 保護者	令和7年 保護者
A+B	90	76	87	85	78	78
C+D	9	7	11	13	9	11

コメント：昨年の5年生に比べて今年の5年生は正直なのか、やんちゃなのか、肯定的回答が70%台に下がったのは久しぶりだ。

(2)児童5,6年に「学校のきまりを守らない児童に先生は注意をしている」

保護者には「本校は、教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子どもが理解している」

回答%	令和6年 児童5年	令和7年 児童5年	令和6年 児童6年	令和7年 児童6年	令和6年 保護者	令和7年 保護者
A+B	92	90	80	79	80	85
C+D	4	7	13	19	11	10

コメント：元気な5年生は注意されていることを理解している。6年生はまじめで注意をされないのか肯定的回答がやや低い。

(3)児童5,6年に「私は、先生に注意されたことは理解できる」

回答%	令和6年 児童5年	令和7年 児童5年	令和6年 児童6年	令和7年 児童6年
A+B	95	93	86	92
C+D	3	2	13	4

コメント：5年生、6年生ともに注意されたことは理解していると思われるので、先生と児童の関係は良好である。

【生活指導について考察】

元気な児童は時にはルールに反することも意識しながらやっているようだ。注意されることにも納得しているようで、元気な児童と熱心な教師の姿が見える。

【3】学校行事について

(1) 児童5, 6年に「学校行事は、楽しい」

保護者には「学校行事は、子どもにとって楽しい」

回答%	令和6年 児童5年	令和7年 児童5年	令和6年 児童6年	令和7年 児童6年	令和6年 保護者	令和7年 保護者
A+B	95	85	91	86	97	95
C+D	5	4	8	12	2	3

コメント：5年生6年生とも学校行事をととても楽しんでいる。保護者も95%と楽しんでいる。

(2) 児童5, 6年に「学校行事は、達成感がある」

保護者には「学校行事は、子どもにとって達成感がある」

回答%	令和6年 児童5年	令和7年 児童5年	令和6年 児童6年	令和7年 児童6年	令和6年 保護者	令和7年 保護者
A+B	87	85	86	86	96	94
C+D	10	4	12	12	4	4

コメント：5年生6年生学校行事のなかで達成感を感じている。保護者もそれを知っている。

(3) 児童5, 6年に「先生は、児童の意欲を大切にしている」

保護者には「本校は、子どもの意欲を大切にしている」

回答%	令和6年 児童5年	令和7年 児童5年	令和6年 児童6年	令和7年 児童6年	令和6年 保護者	令和7年 保護者
A+B	94	81	85	82	91	91
C+D	5	10	11	13	4	5

コメント：児童中心で進められている学校行事が児童の意欲を伸ばすための教育の一環、という意味を上級生は理解しているようだ。保護者もそれを理解している。

(4) 児童5, 6年に「なかよし班活動では、下学年を楽しませている」

保護者には「子どもはなかよし班活動遊びを楽しみにしているようである」

回答%	令和6年 児童5年	令和7年 児童5年	令和6年 児童6年	令和7年 児童6年	令和6年 保護者	令和7年 保護者
A+B	79	78	84	89	74	75
C+D	11	9	9	7	11	13

コメント：肯定的回答が多い。上級生と下級生の関係がよいことが見られる。

(5) 児童5, 6年に「なかよし班活動では、自分の役割に責任を持って活動している」

保護者には「子どもはなかよし班活動において、自分の役割に責任を持って自分の役割に責任をもって活動しているようである」

回答%	令和6年 児童5年	令和7年 児童5年	令和6年 児童6年	令和7年 児童6年	令和6年 保護者	令和7年 保護者
A+B	88	78	91	89	63	68
C+D	8	9	5	7	9	13

コメント：上級生になるほど、責任感を感じて活動しているようである。

【学校行事：運動会、展覧会、なかよし班活動、学習発表会、宿泊行事などについて考察】

当校の校長の学校経営方針は「教師は授業で勝負する。子どもは行事で飛躍する。」と聞く。本校では運動会や展覧会、学芸会など主要な行事は、父兄OBなどからなる「おやじの会」がビデオカメラを何台も使って児童の家庭向きにユーチューブでライブ配信しており、行事に来た人も来れなかった人も何回でも家庭で家族と共にそれを見直し、楽しんでいるようだ。

また、当校のユニークな学年縦割りのグループ活動の、なかよし班活動は低学年の児童がやさしい上級生のお兄さんやお姉さんとグループを作り、遊び、運動する活動で、学校全体の雰囲気は温かくしている貴重な活動だ。低学年はひたすら楽しい、高学年になると責任感を感じつつ低学年を楽しませる貴重な体験である。

【4】キャリア教育について

(1) 児童5, 6年に「自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある」

保護者には「本校の教員は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している」

回答%	令和6年 児童5年	令和7年 児童5年	令和6年 児童6年	令和7年 児童6年	令和6年 保護者	令和7年 保護者
A+B	71	72	73	82	59	62
C+D	22	11	23	11	17	17

コメント：5年生はいまひとつだが6年生は将来を考えるように成長しているようだ。

保護者の方々の肯定的回答が62%とやや低いのが気になる。子どもとの対話不足なのだろうか。

(2) 児童5, 6年に「目標をもち、その実現に向けて努力している」

保護者には「自分の生き方や将来のことについて、考える授業をしている」

回答%	令和6年 児童5年	令和7年 児童5年	令和6年 児童6年	令和7年 児童6年	令和6年 保護者	令和7年 保護者
A+B	87	83	81	82	49	55
C+D	11	4	15	11	17	17

コメント：児童には努力している自覚はあるようだ。保護者の半数ぐらいが肯定的回答を示す。

(3) 児童5, 6年に「区立中学校に関する情報が提供されている」

回答%	令和6年 児童5年	令和7年 児童5年	令和6年 児童6年	令和7年 児童6年
A+B	40	41	66	51
C+D	33	40	19	24

コメント：児童も特別の目標がある者を除き、「区立中学には行ける」と思い関心は低いのだろう。

【キャリア教育について考察】

自分の生き方や将来のことについて考えさせられる授業があるという設問に5年生が72%。6年生82%という肯定的回答であり、自分自身目標をもち、その実現に努力している児童が5年生で83%、6年生で82%の肯定的回答を示している。どんな社会人になるかということは考えられているようだ。区立中学への関心は低いが、受験せずに進学できるので、あえて情報を得る必要性を感じないのかもしれない

【5】教職員について

(1) 児童5, 6年に「先生たちは、ていねいに指導してくれる」

保護者には「本校は、ていねいに指導している」

回答%	令和6年 児童5年	令和7年 児童5年	令和6年 児童6年	令和7年 児童6年	令和6年 保護者	令和7年 保護者
A+B	99	92	93	87	87	87
C+D	1	4	5	12	13	8

コメント：当校の児童の先生方への信頼は今年も高い。

(2) 児童5, 6年生に「先生たちに相談できる」

保護者には「本校は子どものことを相談できる」

回答%	令和6年 児童5年	令和7年 児童5年	令和6年 児童6年	令和7年 児童6年	令和6年 保護者	令和7年 保護者
A+B	79	73	69	71	79	81
C+D	16	14	29	26	14	13

コメント：自ら先生に相談ができる児童が70%以上存在するのは素晴らしい。保護者も81%の肯定的回答を示している。

【教職員について考察】

当校の教職員の指導は児童に理解され支持されている。「先生は丁寧に指導してくれる」への肯定的回答が90%前後、「先生に相談ができる」児童が7割を超えているのは素晴らしい。保護者もそれをわかっている。

【6】学校全般について

(1)児童5,6年へ「学校生活は楽しい」

児童1～4年には「毎日の学校生活が楽しい」

上段に昨年令和6年の結果、下段に本年令和7年の結果を表にした。

回答%	令和6年 児童1年	令和6年 児童2年	令和6年 児童3年	令和6年 児童4年	令和6年 児童5年	令和6年 児童6年
A+B	86	89	86	86	94	86
C+D	6	9	12	12	6	14

回答%	令和7年 児童1年	令和7年 児童2年	令和7年 児童3年	令和7年 児童4年	令和7年 児童5年	令和7年 児童6年	令和7年 くるみ
A+B	89	84	84	78	80	77	100
C+D	9	10	10	14	19	21	0

コメント：1年生から6年生まで、ほぼ80%前後の児童が「学校生活が楽しい」と言っている。ただ5年、6年で否定的回答が20%前後に増えているのが気になる。授業が難しくなり、ついていくのが大変なのかもしれない。先生方のフォローに期待したい。

(2)児童5,6年へは「学校が好き」

児童1～4年には「下北沢小学校が好きである」

上段に昨年の結果、下段に本年の結果を表にした。

回答%	令和6年 児童1年	令和6年 児童2年	令和6年 児童3年	令和6年 児童4年	令和6年 児童5年	令和6年 児童6年	令和6年 児童1～4年 全体	令和6年 5,6年 全体
A+B	87	89	88	85	84	77	87	81
C+D	6	7	8	10	11	20	8	16

回答%	令和7年 児童1年	令和7年 児童2年	令和7年 児童3年	令和7年 児童4年	令和7年 児童5年	令和7年 児童6年	令和7年 くるみ学級
A+B	94	84	87	80	80	78	100
C+D	5	12	6	15	8	20	0

コメント：下級生、くるみ学級の評価が高い。5年、6年は、責任も感じつつ難しくなる授業について行っていることが見える数字だ。

(3) 児童5年、6年にのみ「私は家庭で宿題やeラーニングでの学習をしている」

回答%	令和6年 児童5年	令和7年 児童5年	令和6年 児童6年	令和7年 児童6年
A+B	75	70	71	57
C+D	16	19	24	24

コメント：学校ではeラーニングの利用が進んでおり、使いこなしている児童が多いが、塾通いも多い。家庭学習は5,6年生では児童の60%から70%しか行われていないようだ。

(4) 児童5,6年へは「私は、塾で学習している」

回答%	令和6年 児童5年	令和7年 児童5年	令和6年 児童6年	令和7年 児童6年
A+B	64	67	65	63
C+D	31	31	32	29

コメント：本校では、5年生も6年生も60%以上の児童が塾へ通っている現実に驚かされる。

(5) 5年と6年児童へのみ「学び舎の中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がある」

回答%	令和6年 児童5年	令和7年 児童5年	令和6年 児童6年	令和7年 児童6年
A+B	32	44	34	32
C+D	44	39	51	46

コメント：区立中学校との連携意識はあまりない。

【学校全般について考察】

学校全体の雰囲気がとても温かい。低学年の児童は上級生を怖がることもなく、お兄さん、お姉さんとして親しんでいることがわかる。5,6年生の上級生は下級生の様子に責任感を持って接している。結果として多くの児童が「学校が好きになり」「学校生活が楽しい」と感じている。そのような中で自分のキャリアを意識して目標を持ち受験を目指して塾へ通う5,6年生児童が60%強も存在しているのが本校の特徴だろう。

【7】重点目標について

これについては5, 6年対象の「重点目標について」の3問以外に1～4年までを学校独自アンケートの中でも同様の内容を聞いているので同時比較をする。

(1)重点目標「かかわり合う活動の充実による自分づくりのできる子どもの育成 短くして『自分のよさの実感』」

この達成度メジャーとして、学校は、5, 6年児童向け設問「わたしは学校生活のなかで、自分のよさを見つけられた」の肯定的回答を昨年以上にすることを目標にしている。なお児童1～4年には、「学校生活で自分のよいところをみつけられた」が設問されている。

回答%	令和6年 児童5年	令和7年 児童5年	令和6年 児童6年	令和7年 児童6年	令和7年 児童1年	令和7年 児童2年	令和7年 児童3年	令和7年 児童4年
A+B	78	72	74	70	80	65	67	67
C+D	17	13	19	23	11	17	20	19

コメント：「わたしは学校生活のなかで、自分のよさを見つけられた」という設問に：新入生の1年生の肯定的回答の80%に驚いた。2年生が65%、3年生が67%、4年生が67%、5年生が72%、6年生が70%の肯定的回答を示している。学校生活の中で、他者との触れ合いの中で「自分の良さをみつけられた」という体験は児童の成長にとって重要な体験だと思う。教育のなかでこういう気づきを児童に味わせることは大切なことと思う。

(2)重点目標「学習内容がわかり、できると実感し、論理的に考え、表現する子どもの育成。短くして『できる・わかる』」

児童5, 6年には「わたしは学習において考えたことを友達に伝えることができる」

児童1～4年には「学校では自分の考えを言うことができた」

回答%	令和6年 児童5年	令和7年 児童5年	令和6年 児童6年	令和7年 児童6年	令和7年 児童1年	令和7年 児童2年	令和7年 児童3年	令和7年 児童4年
A+B	84	89	79	87	73	63	65	76
C+D	15	4	18	11	22	30	32	21

コメント：自分の考えを他者に伝える能力を自覚する体験は、児童本人にとっては大切なことと思う。5年生、6年生で89%、87%との肯定的回答が出たのは素晴らしい。

(3)重点目標「自分の身体づくりに関心をもち、進んで運動する子どもの育成」

児童5, 6年には「わたしは、健康に関心を持ち、進んで運動している」

この達成度メジャーとして今年、学校は肯定的回答の昨年以上を目標としている。

児童1～4年には「自分から進んで身体を動かしたり、運動したりした」

回答%	令和6年 児童5年	令和7年 児童5年	令和6年 児童6年	令和7年 児童6年	令和7年 児童1年	令和7年 児童2年	令和7年 児童3年	令和7年 児童4年
A+B	74	72	74	71	75	74	70	74
C+D	24	11	24	27	18	18	27	22

コメント：身体作りの目標は今まで80%以上の肯定的回答を目指してきたが、70%台で続いている。あきらめずに継続したい。

重点目標(1)の「わたしは学校生活のなかで、自分のよさを見つけられた」という設問に、1年生の肯定的回答が80%もあることに驚いた。2年生が65%、3年生が67%、4年生が67%、5年生が72%、6年生が70%の肯定的回答を示している。学校生活の中で、他者との触れ合いの中で「自分の良さをみつけられた」という体験は児童の成長にとって重要な体験だと思う。教育の中でこういう気づきを児童に味わせることは大切なことだと思う。

重点目標(2)の、自分の考えを他者に伝える能力を自覚する体験は、児童本人にとっては大切なことと思う。5年生、6年生で89%、87%との肯定的回答が出たのは素晴らしい。

重点目標(3)の「自分の身体づくりに関心を持ち、進んで運動する子どもの育成」であるが、児童は「わたしは、健康に関心を持ち、進んで運動している」の設問に対して、1年生から6年生児童まですべての肯定的回答が70%台である。

身体作りの目標は今まで80%以上の肯定的回答を目指してきたがなかなか70%台で続いている。あきらめずに継続したい。

【8】 特色ある教育活動について

(1) 児童5, 6年には「わたしは前より運動ができるようになった」

保護者には「子どもは今までより運動ができるようになった」

回答%	令和6年 児童5年	令和7年 児童5年	令和6年 児童6年	令和7年 児童6年	令和6年 保護者	令和7年 保護者
A+B	82	82	74	70	57	63
C+D	15	8	21	24	36	30

コメント：5年生の肯定的回答82%は運動に関するテーマでの初めての80%台の数字である。前より運動ができるようになった」という直接的な質問がわかりやすかったのだろう。

(2) 児童5, 6年には「わたしは学校生活の中で、友達に自分の考えを伝えることができる」

児童1～4年には「学校では自分の考えを言うことができた」

保護者には「子どもは学校生活の中で友達に自分の考えを伝えているようである」

回答%	令和6年 児童5年	令和7年 児童5年	令和6年 児童6年	令和7年 児童6年	令和7年 児童1年 平均	令和7年 児童2年 平均	令和7年 児童3年 平均	令和7年 児童4年 平均	令和7年 保護者
A+B	91	89	85	87	73	63	65	76	74
C+D	9	4	12	11	22	30	32	21	17

コメント：自分の考えを伝えることができたという自覚を1年生から持たせようとする本設問は素晴らしい。思ったより多くの児童が肯定的回答をしていることが頼もしい。

(3) 児童 5, 6 年には「わたしは学校生活の中で、友達の考えを聞くことができる」

児童 1～4 年には「学校では友達の考えをよく聞くことができた」

保護者には「子どもが学校生活の中で、友達の考えを聞いているようである」

回答%	令和6年 児童5年	令和7年 児童5年	令和6年 児童6年	令和7年 児童6年	令和7年 児童1年	令和7年 児童2年 平均	令和7年 児童3年	令和7年 児童4年 平均	令和6年 保護者	令和7年 保護者
A+B	95	89	97	91	85	81	86	88	83	82
C+D	4	2	2	8	10	11	8	9	7	11

コメント：「他人の意見を聴くことができるという自覚を1年生から6年生までが意識できていることは素晴らしいことである。

(4) 児童 5, 6 年には「なかよし班活動では、下学年を楽しませている」

児童 1～4 年には「なかよし班の活動は楽しい」

保護者には「子どもはなかよし班活動遊びを楽しみにしているようである」

回答%	令和6年 児童5年	令和7年 児童5年	令和6年 児童6年	令和7年 児童6年	令和7年 児童1年	令和7年 児童2年 平均	令和7年 児童3年	令和7年 児童4年 平均	令和6年 保護者	令和7年 保護者
A+B	79	84	80	89	92	84	83	88	74	75
C+D	11	9	9	7	7	11	12	11	11	13

コメント：下級生がこの活動を楽しみお兄さんお姉さんに面倒を見てもらいながら、社会性を身に付けていくことがわかる。下北沢小学校の誇るべき活動だと感じる。

(5) 児童 5, 6 年には「なかよし班活動では、自分の役割に責任を持って活動している」

児童 1～4 年には「なかよし班でみんなで協力することができた」

保護者には「子どもはなかよし班活動において、自分の役割に責任を持って活動しているようである」

回答%	令和6年 児童5年	令和6年 児童6年	令和7年 児童5年	令和7年 児童6年	令和7年 児童1年	令和7年 児童2年	令和7年 児童3年	令和7年 児童4年	令和6年 保護者	令和7年 保護者
A+B	88	91	80	67	86	74	83	75	63	68
C+D	8	5	7	21	10	19	12	19	9	13

コメント：上級生には責任感やリーダーシップを下級生には社会性を身に付ける貴重な活動だ。

【特色ある教育活動について考察】

入学して「以前より運動ができるようになった」との自覚、「友達に自分の考えを伝えることができる」という自覚、「友達の考えを聞くことができる」との自覚、「幼い者たちを楽しませている」という自覚、そして感じた「なかよし班活動」に対する責任感などは、下級生から上級生まで意義のある活動だと思う。是非今後も継続して欲しい。

【9】学校と家庭のつながりについて

(1) 児童5, 6年には「わたしは知っている人にはあいさつしている」

児童1～4年には「知っている人にはあいさつをしている」

保護者には「子どもは家庭の中であいさつしている」

回答%	令和6年 児童5年	令和6年 児童6年	令和7年 児童5年	令和7年 児童6年	令和7年 児童1年	令和7年 児童2年	令和7年 児童3年	令和7年 児童4年	令和6年 保護者	令和7年 保護者
A+B	91	88	85	91	82	72	86	82	89	90
C+D	7	11	3	8	14	20	10	15	10	10

コメント：下級生から上級生まで高い肯定的回答がならぶ。本校では毎朝校長が校門前に立ち、登校する児童に大きな声で挨拶と声掛けをしている。子ども達も各自嬉しそうに挨拶をしている。通学路では交通パトロールの方々に挨拶していく児童も多い。学校、地域、一体でのあいさつ運動とも言えよう。

(2) 児童に「わたしは朝ご飯を食べてきている」

保護者には「子どもは朝ご飯を食べて登校している」

回答%	令和7年 児童5年	令和7年 児童6年	令和7年 児童1年	令和7年 児童2年	令和7年 児童3年	令和7年 児童4年	令和7年 くるみ	令和7年 保護者
A+B	94	87	94	90	91	92	100	96
C+D	3	11	6	6	8	5	0	4

コメント：親が用意した朝食を寝坊して食べずに登校してしまう児童がいるのではないかと。

【学校と家庭のつながりについて考察】

学校と児童家庭とのつながりは色々な手段(学校通信、電話網・電子メール・ライン・映像配信など)でかなり良好と思える。あいさつ運動などには地域も協力しているようだ。

【10】学校運営について

(1) 保護者には「本校は、保護者に学校の重点目標を伝えている」

地域の方には「学校の重点目標が明確である」

回答	1～6年保護者		地域の方	
	令和6年	令和7年	令和6年	令和7年
肯定的回答%(A+B)	79	86	89	100
否定的回答%(C+D)	9	6	11	0

コメント：保護者にも地域の方にも十分伝わっている。

(2)保護者には「校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる」

地域の方には「地域の意見に対して、学校はていねいに説明対応している」

回答	1～6年保護者		地域の方	
	令和6年	令和7年	令和6年	令和7年
肯定的回答%(A+B)	91	91	77	90
否定的回答%(C+D)	3	4	9	7

コメント：地域と学校の関係は、PTAやおやじの会、同窓会OBなどを含め協力関係にある。

【学校運営について考察】

地域にいるPTAやPTAのOB、おやじの会、下北沢小学校同窓会、地元の町会などには有能で熱心な人材が多く、彼らと協力関係ができています。

【11】学校からの情報提供について

(1)保護者には「本校は、さまざまな便りなどで、保護者に情報を提供している」

地域の方には「学校からのお知らせ（学校だより）などにより、学校の様子がわかる」

回答	1～6年保護者		地域の方	
	令和6年	令和7年	令和6年	令和7年
肯定的回答%(A+B)	92	94	94	77
否定的回答%(C+D)	6	5	6	23

コメント：地域や保護者との関係は密である。保護者はOBを含め学校に協力している。

(2)保護者には「本校は、ホームページやメールなどで、保護者に情報を提供している」

地域の方には「学び舎の活動について、情報が提供されている」

回答	1～6年保護者		地域の方	
	令和6年	令和7年	令和6年	令和7年
肯定的回答%(A+B)	90	95	86	93
否定的回答%(C+D)	6	4	6	3
わからない%(E)	3	1	8	4

コメント：保護者や地域協力者は情報を受けて居る。

(3)保護者には「『学び舎』の区立(幼稚園)中学校について情報が提供されている」

地域の方には「学校公開や道徳授業地区公開講座などで学校の様子がよくわかる」

回答	1～6年保護者		地域の方	
	令和6年	令和7年	令和6年	令和7年
肯定的回答%(A+B)	48	61	60	77
否定的回答%(C+D)	25	19	29	23
わからない%(E)	27	20	11	0

コメント：学校公開には多くの保護者や地域OBの協力者が集まる。

(4)保護者には「学校公開や保護者会をとおして、学校の様子がよくわかる」

地域の方には「学校のホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子がわかる情報が掲載されている」

回答	1～6年保護者		地域の方	
	令和6年	令和7年	令和6年	令和7年
肯定的回答%(A+B)	92	94	83	93
否定的回答%(C+D)	5	4	9	3
わからない%(E)	3	1	8	4

コメント：保護者も地域協力者は学校の様子を良く把握している。

【学校からの情報提供について考察】

本年は下北沢小学校10周年を迎え、町会やPTA、おやじの会、同窓会等、学校と緊密な協力関係に地域の学校関係者が学校と一体になって事業を推進した。このようなイベントで心がつながった人々は今後も学校に協力を続けて行くことと思われる。

【12】地域との連携について

(1)保護者には「本校は、地域の人材や施設を教育活動に活かしている」

地域の方には「地域の人材や施設を教育活動に活かしている」

回答	1～6年保護者		地域の方	
	令和6年	令和7年	令和6年	令和7年
肯定的回答%(A+B)	70	75	89	93
否定的回答%(C+D)	8	10	6	7
わからない%(E)	22	15	5	0

コメント：アンケートに協力した地域の方々は、93%という高い肯定的回答であり、今後も協力する気持ちを表している。

(2)保護者には「本校は、地域の活動や行事に協力的である」

地域の方には「学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている」

回答	1～6年保護者		地域の方	
	令和6年	令和7年	令和6年	令和7年
肯定的回答%(A+B)	66	73	57	57
否定的回答%(C+D)	8	10	17	13
わからない%(E)	26	17	26	30

コメント：学校協議会の活動は地域の方には知られていない。保護者は、学校が地域に協力的であると、73%が評価している。

(3)保護者の方のみに「本校は地域に情報を提供している」

回答	1～6年保護者	1～6年保護者
	令和6年	令和7年
肯定的回答%(A+B)	57	89
否定的回答%(C+D)	9	7
わからない%(E)	34	4

コメント：保護者は学校からの情報をよく受け取っている。

(4)地域の方に「学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている」

回答	地域の方	
	令和6年	令和7年
肯定的回答%(A+B)	63	67
否定的回答%(C+D)	14	13
わからない%(E)	23	20

コメント：学校運営委員の活動については、関係者でない地域の人にはわかりにくい模様だ。

【地域との連携について考察】

今回のアンケートは地域で学校に協力をしてきて住所のわかった64名の方に出されており、学校からの情報はよく受けているが、学校運営委員会などの内容などは共有されていないと思われる数字である。

【13】学校の安全性について

(1)保護者には「本校は、安全な学校づくりを進めている」

地域の方には「学校は、安心・安全な学校づくりを進めている」

回答	保護者		地域の方	
	令和6年	令和7年	令和6年	令和7年
肯定的回答%(A+B)	86	89	100	100
否定的回答%(C+D)	7	7	0	0
わからない%(E)	7	4	0	0

コメント：学校の安全に関する考えを保護者や地域も信頼している。

(2)保護者には「本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている」。地域の方には「学校は、安全性を高めようと地域と協力している」

回答	保護者		地域の方	
	令和6年	令和7年	令和6年	令和7年
肯定的回答%(A+B)	92	93	87	97
否定的回答%(C+D)	4	4	4	3
わからない%(E)	4	3	9	0

コメント：子どもの安全面についての意識が高いと言える。

【学校の安全性について考察】

保護者も地域の方々も、学校の安全性については信頼しているようだ。

【14】 学校全般について 【設問票番号 保護者 6-(1)～6-(5) 地域 1-(1)～2-(2)】

(1) 保護者へのみ「本校の学校生活は、子どもにとって楽しい」

回答	令和6年 1～6年保護者	令和7年 1～6年保護者
肯定的回答%(A+B)	89	88
否定的回答%(C+D)	8	8
わからない%(E)	3	4

コメント：この数字は例年継続されており素晴らしい。

(2) 保護者へのみ「子どもは、家庭で自主的に学習をしている」

回答	令和6年 1～6年保護者	令和7年 1～6年保護者
肯定的回答%(A+B)	56	63
否定的回答%(C+D)	43	37
わからない%(E)	1	0

コメント：1～6年生児童の保護者の肯定的回答が60%を超えているのは驚きだ。

(3) 保護者へのみ「本校は、近隣の(幼)・小・中学校で構成する「学び舎」による幼稚園・小学校・中学校の連携や交流活動が行われている」

回答	令和6年 1～6年保護者	令和7年 1～6年保護者
肯定的回答%(A+B)	43	56
否定的回答%(C+D)	20	19
わからない%(E)	37	25

コメント：保護者の学び舎への意識は56%。関心はさほど高くないようだ。

(4) 保護者へのみ「本校の教育活動に満足している」

回答	令和6年 1～6年保護者	令和7年 1～6年保護者
肯定的回答%(A+B)	84	83
否定的回答%(C+D)	10	12
わからない%(E)	6	5

コメント：いろいろな考え方の人間がいる中、80%を超える保護者の高評価は素晴らしい。

(5) 保護者へのみ「子どもは、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる」

回答	令和6年	令和7年
	1～6年保護者	1～6年保護者
肯定的回答%(A+B)	76	76
否定的回答%(C+D)	18	19
わからない%(E)	6	5

コメント：例年75%を超える評価は素晴らしい。

(6) 地域の方々へのみの設問

設問	A+B %		C+D %	
	令和6年	令和7年	令和6年	令和7年
通学している子どもたちは、交通ルールなどを守っている。	77	83	20	7
学校行事の内容は充実している。	92	90	8	7
事前の準備や当日の案内などで地域への配慮がある。	83	90	6	3

コメント：学校行事と地域への配慮の評価はかなり高い。地域の方々の、子どもたちの交通ルール遵守への83%の肯定的回答はかなり高い。

【学校全般について考察】

保護者や地域の方々は学校の安全に関する取り組みを信頼し、校長はじめ先生方の教育方針を素晴らしいと評価している。子ども達も単なる勉強を詰め込む教育でなく、楽しい行事を自分たちが楽しみながら立ち上げ、その過程で他者の意見を聴くことの大切さや、自分の価値を認めてもらう経験などを経て成長していることを感じ、下北沢小学校を誇りに思っているようだ。

【15】下北沢小学校独自アンケート（1年生から4年生およびくるみ学級対象）

下北沢小学校は独自に1年生から4年生全員とくるみ学級児童に下記1～12のアンケートを実施している。児童の成長を計る貴重なデータと思うので添付する。

1. 学校生活で自分の良いところを見つけられた。

学年	肯定的回答 (A+B) %	否定的回答 (C+D) %	わからない (E%)
1年生	80	11	9
2年生	65	17	18
3年生	67	20	13
4年生	67	19	14
くるみ学級	85	8	7

コメント：自分の良いところを発見した喜びは大きい。1年生ではさぞかし記憶に残ったのだろう。

2. 勉強でわかることやできることが増えた。

学年	肯定的回答 (A+B) %	否定的回答 (C+D) %	わからない (E%)
1年生	90	8	1
2年生	84	10	6
3年生	90	8	2
4年生	88	8	4
くるみ学級	92	8	0

コメント：1年生3年生が90%、2年生と4年生の肯定的回答が84%、88%、くるみ学級の92%は素晴らしい

3. 友達から言われたことで、嬉しくなったことがあった。

学年	肯定的回答 (A+B) %	否定的回答 (C+D) %	わからない (E%)
1年生	79	13	8
2年生	66	20	14
3年生	77	17	6
4年生	86	8	6
くるみ学級	85	15	0

コメント：このような経験を重ねて児童は成長している。

4. 自分から進んで体を動かして遊んだり、運動したりした。

学年	肯定的回答 (A+B) %	否定的回答 (C+D) %	わからない (E%)
1年生	75	18	7
2年生	74	18	8
3年生	70	27	3
4年生	74	22	4
くるみ学級	100	0	0

コメント：事実を聞かれているので、肯定的回答が70%台に集中している。

5. 学校では自分の考えを言うことができた。

学年	肯定的回答 (A+B) %	否定的回答 (C+D) %	わからない (E%)
1年生	73	22	5
2年生	63	30	7
3年生	65	32	3
4年生	76	21	3
くるみ学級	92	8	0

コメント：くるみ学級は伸び伸びと交流している。低学年の児童は自分の考えを言うことにやや躊躇がみられる。

6. 学校では、友達の話をよく聞くことができた。

学年	肯定的回答 (A+B) %	否定的回答 (C+D) %	わからない (E%)
1年生	85	10	5
2年生	81	11	8
3年生	86	8	6
4年生	88	9	3
くるみ学級	100	0	0

コメント：低学年の児童は自分の友達の意見を聞くことは得意である。

7. なかよし班の活動は楽しい

学年	肯定的回答 (A+B) %	否定的回答 (C+D) %	わからない (E%)
1年生	89	9	2
2年生	84	11	5
3年生	83	12	5
4年生	88	11	1
くるみ学級	100	0	0

コメント：低学年児童とくるみ学級の児童は、なかよし班活動が楽しいと感じている。

8. なかよし班でみんなで協力することができた。

学年	肯定的回答 (A+B) %	否定的回答 (C+D) %	わからない (E%)
1年生	86	10	4
2年生	74	19	7
3年生	83	12	5
4年生	75	19	6
くるみ学級	100	0	0

コメント：低学年児童とくるみ学級は、なかよし班活動の経験を嬉しく思っている。

9. 毎日の学校生活が楽しい。

学年	肯定的回答 (A+B) %	否定的回答 (C+D) %	わからない (E%)
1年生	90	7	4
2年生	84	10	6
3年生	87	6	7
4年生	78	14	8
くるみ学級	100	0	0

コメント：低学年児童とくるみ学級の児童の80%以上は、毎日の学校生活が楽しいと感じている。

10. 下北沢小学校が好きである。

学年	肯定的回答 (A+B) %	否定的回答 (C+D) %	わからない (E%)
1年生	94	5	1
2年生	84	12	4
3年生	87	6	7
4年生	80	15	5
くるみ学級	100	0	0

コメント：低学年児童の80%以上は、学校が好きである。

11. 知っている人には挨拶している。

学年	肯定的回答 (A+B) %	否定的回答 (C+D) %	わからない (E%)
1年生	82	14	4
2年生	72	20	8
3年生	86	10	4
4年生	82	15	3
くるみ学級	92	8	0

コメント：低学年児童は、挨拶が上手だ。

12. 朝ご飯を食べてきている。

学年	肯定的回答 (A+B) %	否定的回答 (C+D) %	わからない (E%)
1年生	94	6	0
2年生	90	7	7
3年生	91	8	1
4年生	92	5	3
くるみ学級	100	0	0

コメント：低学年の中にも、朝ご飯を食べてこない児童は、少ないが存在する。

以上